

1. 要項の目的

この要項は、本学の令和2（2020）年度入学者選抜において、入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、学力の3要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」）を踏まえた多面的・総合的評価による入学者選抜を実施するため、令和2（2020）年度入学試験要項に追加して定め、公表します。

2. 推薦試験における学力検査

推薦入試（指定校推薦入試、専門学科・総合学科推薦入試、一般推薦入試）においては、大学教育を受けるために必要な基礎学力の状況を把握するため、面接試験において口頭試験を行います。

3. 記述式問題および記述式総合問題

学科試験（国語・数学・英語・簿記）では、「思考力・判断力・表現力」を評価するため、自らの考えを導き出して記述する、「記述式問題」を出題します。

学科試験（小論文）では、「思考力・判断力・表現力」を評価するため、いくつかのテキスト（図表を含む）を読み解き、内容を的確に把握したうえで論理的に記述する、「記述式総合問題」を出題します。

4. 配点

各試験区分における配点は下表のとおりです。

	筆記試験	面接および提出書類 (活動報告書・調査書・ 入学志望動機書)
推薦入試（指定校推薦・専門学科総合 学科推薦・一般推薦）	—	100%
試験入試 (A日程・B日程)	90%	10%
センター試験利用入試 (A日程・B日程)	90%	10%
編入学試験 (A日程・B日程)	90%	10%

5. 活動報告書の評価の観点

社会人入試を除く全入試区分において提出を必要とする「活動報告書」について、評価の観点を別表のとおり定めます。

別表 活動報告書の評価の観点

		取り組んでいる	よく取り組んでいる	すぐれて取り組んでいる
主体性	資格・検定への取り組み	何らかの資格・検定試験を受験した（可否は問わない）。	高校生の水準の資格・検定試験の合格に向けて取り組んだ。	高校生の水準以上の資格・検定試験の合格にむけて取り組んだ。
	自分の考えを発表する取組	授業の一貫として、学級内で自分の考えを発表した。	学年や学校全体の行事の中で、自分の考えを発表した。	学校外の行事で、自分の考えを発表した。
多様性	国際的な学習への取り組み	外国語の学習において「話す」技能を伸ばす学習に取り組んだ。	国内において、外国人と交流した。（インターネットを介したものも含む）	海外へ行って、研修や学習を行った。（単なる観光旅行は除く）
	読書への取り組み	学校の図書室を利用する、本を自分で購入するなど、自分で本を選んで読書をした。	読んだ本の内容について、感想・レビューを書いた。（学校の課題は除く）	幅広い分野の本を読んで、多様な考え方に触れたり、分量の多い本に挑戦したりした。
協働性	課外活動の取り組み	学校の課外活動や、地域のスポーツ・文化活動、ボランティア活動などに参加している。	学業との両立を図り、練習・活動時間を効率的にするための工夫をした。	学業との両立を図りつつ、活動において優れた実績（大会での上位入賞など）をあげた。
	ICTを活用した学習への取り組み	PCやスマホ・タブレットなどのIT機器を日々の学習に活用した。	インターネットによる双方向コミュニケーションを用いた学習をした。	自身の学習時間や学習進度を管理するシステムを利用した。